目標達成計画

作成日 : 平成23年 1月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標	【目標達成計画】							
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>		
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映や、要望を表せる機会を設ける事が出来ていない。 こちらからの情報提供が少ないのが一因と思われる。	月1回、個別に暮らしぶりや状態の報告を文書にして送るようにする。(あまり変化のない方には2ヶ月に1回)また、全体の行事、サービスの状況等も定期的に発送し、家族の意見、感想等を聞くようにする。	文書発送時に返信用封筒を同封し、何らかのコ メントを記入してもらうようにした。	6 か月			
2	4	運営推進委員の人数を最小限にしてきたが、最 近参加が少な〈思うように活動できない。	人数を増やし、内容により、不定期に各方面に 声をかけて参加者の意見を反映できるように する。	グループホームの周りに住んでいる方たちに声をかけて参加をしていただいた。また、派出所のおまわりさん、地域の消防団の方にも参加いただき貴重なご意見をいただいた。今後も、議題によって不定期に参加していただく方たちを増やしていきたい。ご家族も出来るだけ参加いただけるように、声掛けしているが、仕事の都合等を理由に委員以外の方の参加は困難な状況だが、毎回案内だけはしていくことにする。	か月			
3					か月			
4					か月			
5					か月			

事業所名 うつのみやさんの家

作成日: 平成23年 1月31日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

		取り組んだ内容 (該当するものすべてに 印)			
	実施段階				
	サービス評価の事前準備	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った			
1		利用者へサービス評価について説明した			
		利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした			
		運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した			
		その他()			
2	自己評価の実施	自己評価を職員全員が実施した			
		前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った			
		自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った			
		評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った			
		その他()			
3	外部評価(訪問調査当日) - -	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった			
		評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた			
		対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た			
		その他()			
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開 - -	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った			
		利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った			
		評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った			
		運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った			
		その他(
5	サービス評価の活用	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した			
		「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)			
		「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)			
		「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)			
		その他(今後の目標として職員会で話し合い、実行していきたい			